

武陽 月報

武陽食品株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル
Tel 03-3211-4831 Fax 03-3211-6004



武陽月報は、大豆と共に情報をお届けするニュースレターです。

新年明けましておめでとうございます

本年も宜しくお願い申し上げます

2023年(令和5年)の十二支は🐰(ウサギ)です。穏やかで温厚な性質から「家内安全」。また飛び跳ねる姿から「飛躍」「向上」が期待され、新しいことに挑戦するのに最適な年と言えます。

株式相場では、「卯は跳ねる」の格言があり、相場が跳ねる、上がると言われていますが、昨年後半からの各国の利上げが続き、ついには黒田サプライズで、株式相場は大荒れとなりました。

今年の卯年は「**癸卯(みずのとう)**」です。癸(みずの)とは雨や露など、静かで温かい大地を潤す水を表わし、飛躍、向上の卯と合わさることで、これまでの努力が結実し、大きな成長や飛躍ができる年になるそうです。

これまで、コロナ&コロナ、その次は値上げ&値上げと、ずっと我慢を強いられてきました。今年はこれまで貯めてきた力を一気に解放し、商売繁盛に繋げていきたいと思っております。



長寿の秘訣 ~ 長生きは運じゃない、豆と幸せ感

ギネスブックに載る長寿世界一は、フランス人女性のジャンヌカルマンさん 122歳で、120年を超えた唯一の人類とされています。日本国内では昨年お亡くなりになった田中かね子さん 119歳。男性では10年前に亡くなられた木村次郎右衛門さん 116歳です。

2021年の日本人の平均寿命は、男性81.47歳、女性87.57歳。コロナの影響で10年振りに前年を下回りましたが、医療の進歩により死亡率は低下しています。「人間50年、…」と人生が50年であった時代から、栄養と公衆衛生の改善、また国民皆保険の確立などにより、戦後の数十年の間に人生は30年も延びました。

研究によれば、2065年には男性84.95歳、女性91.35歳まで延びるとの推計もあるようです。1963年に調査が始まった100歳以上の人数は、1963年153人、1980年968人、1998年1万人。そして現在、100歳以上は9万人(男性1万人、女性8万人)です。次のうさぎ年2035年には25万人、約30年後の2050年には53万人になるとみられています。東北最大の大都市 仙台の全人口103万人と数字だけを比較すると少々驚きます。

たまたま長生きではない

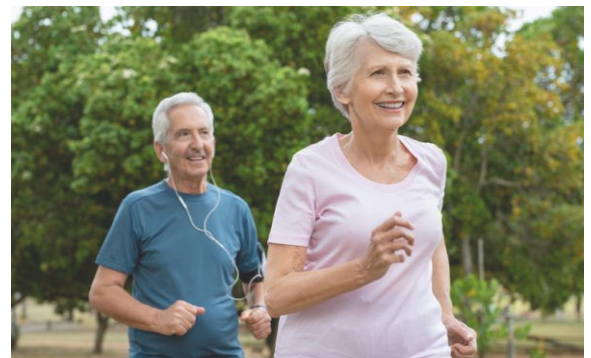
寿命に与える遺伝的な影響はわずか2~3割。体質や遺伝よりも、普段からの生活習慣が大事です。先にご紹介した木村次郎右衛門さんは、1日に3食を摂り、大豆・イモ・ヨーグルト・海藻などを食べていたようです。また、明るく前向きな性格で、仕事や趣味も長くしていたとのこと。ご長寿には、大豆を中心とした日本食と明るく、日々を楽しむ姿勢が必要なようです。



豆の摂取量が多い国は寿命が長い

マメ類は血糖値やインスリン、コレステロールの数値を低く抑えるので高齢者の方ほどおすすです。また、大豆に含まれるエストロゲンは、乳がん予防や乳がん発症時生存率を高める効果があると言われています。

あらゆる病気のリスクを下げてくれる大豆。納豆・豆腐・みその食事に心掛け、明るく前向きに生活を楽しんでいきましょう。あと一つ「長生きしよう」と思うことも大切だそうです。



シカゴ大豆相場・金融相場について

12月では1%¹/14.98ドル 前月比+0.33¹ドルと横ばい圏が続いています。

中国の大豆需要は価格変動に大きな影響を与え、年末までに中国の経済復興の予想がありましたが、ゼロコロナ政策の緩和は感染爆発につながり、大豆相場に影響しませんでした。各国の連続した利上げは景気後退を予見させ、原油安も加わり、コーンなどの穀物相場は微減方向にあります。

歴史的な急変動に見舞われた2022年

各国の利上げによる急速な金融引き締めは、長期金利の高騰やREITなどの不動産投資の下落を招きました。また、新型コロナ対策によるマネーは逆回転し、暗号資産などの高リスク資産からは避難しており、代表的なビットコインは年初比△6割となりました。

輸入大豆などに影響を与えるドル円相場は10月に150円/ドルをつけましたが、FOMCの利上げ減速と日銀の政策変更による実質金利引き上げは、年末までには130円/ドルまで下落しました。今後投機筋は日銀の政策修正を受けた「円買い」に移る可能性もあり、125円/ドルを突破すれば円高が加速するとの見方も出ています。



令和4年産国産大豆の第一回入札結果

日本特産農産物協会 令和4年産最初の入札結果が発表されました。

平均落札価格は、普通大豆10,022円、特定加工用大豆9,407円、平均9,898円となり、上場数量は昨年より+4%ほど増加しましたが、落札価格は普通大豆を中心に上昇しています。

初回入札の様子見のところが多く価格高騰にはなりませんでしたが、弊社予想より5%程度は高かった印象です。宮城、青森での不作情報もあり、先行き不安な年の初めとなりました。入手困難な銘柄も出てくる可能性がありますので、新穀のご相談はお早めにお声掛けください。



【入札結果総括】

区分	上場数	落札率	平均価格	前年同月比
普通大豆	1,554 トン	90.4%	10,022 円	+279 円
特定加工用	376 トン	94.6%	9,407 円	△399 円
合計	1,931 トン	91.2%	9,898 円	+142 円

【過去3年の第一回上場数量の推移】

区分	今回	2021/12月	2020/12月	2019/12月
普通大豆	1,554 トン	1,485 トン	851 トン	1,059 トン
特定加工用	376 トン	376 トン	307 トン	356 トン
合計	1,931 トン	1,861 トン	1,158 トン	1,416 トン
落札率	91.2% (1,574 トン)	84.6% (1,574 トン)	100% (1,158 トン)	100% (1,416 トン)

【銘柄別落札価格】

産地	粒別	品種銘柄	今回(2022/12月)	前年(2021/12)	増減	落札率
北海道	大粒	とよまさり	10,309	10,109	+200 円	100%
青森	大粒	おおすず	上場なし	10,668	—	%
岩手	大粒	リュウホウ	9,403	9,250	+153 円	100%
新潟	大粒	里のほほえみ	9,430	10,230	△800 円	100%

次回入札は1月25日(水)の予定です。

□ 本社	03-3211-4831	□ 飼料部宮城営業所	0229-25-8680
□ 東北第一営業所	0229-54-1151	□ 飼料部福島営業所	0243-24-1240
□ 山形営業所	0234-21-9144	□ 大豆選別・挽割加工工場(宮城県美里町)	
□ 東北第二営業所	0243-24-5818	□ 大豆保管定温倉庫(宮城大崎市・福島二本松市)	